

雲南MTBチャレンジ2007ツアーガイド

遠方より来られる方のための雲南ツアーガイドを作成しました。参考にして安全に出雲路へいらしてください。

1) 飛行機利用の参加

前泊が必要となりますので各自宿泊の手配をお願いします。湯村温泉 晴嵐荘が前日及び1日目の夜の宿泊に便利です。今回は自転車を輪行袋に入れて手荷物で移動し、出雲空港から自走の工程を記します。

ヤマタノオロチで有名な斐伊川沿いに上流へ向けて自走する方法です。

ヤマタノオロチ伝説を体感できるサイクリングツアーとなっています。

宿泊先に宅急便で発送する場合は空港からはレンタカーを利用してください。大会当日は自転車でスタート地点まで移動するか、レンタカー等での移動となります。輪行方法は後述の輪行方法を参考にしてください。レンタカーで来られる場合は後述の自家用車利用の参加をご覧ください。

2) JR利用の参加

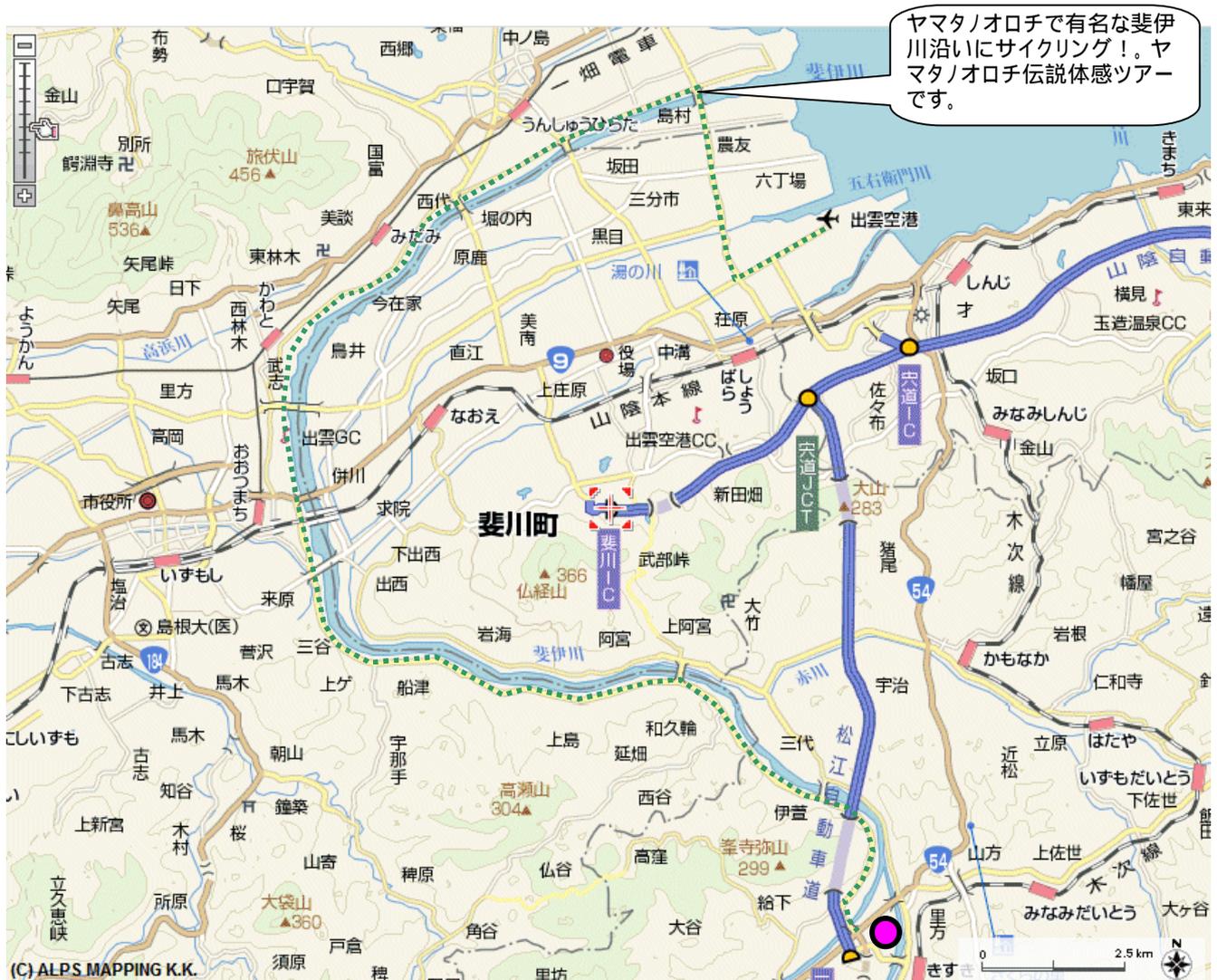
前泊が必要となりますので各自宿泊の手配をお願いします。湯村温泉 晴嵐荘が前日及び1日目の夜の宿泊に便利です。今回は自転車を輪行袋に入れて手荷物で移動し、JR木次駅から自走の工程を記します。

大会当日は自転車でスタート地点までの移動となります。輪行方法は後述の輪行方法を参考にしてください。

3) 自家用車利用の参加

1日目の11/3は吉田総合センター(旧吉田村役場)が受付となります。センター内の駐車場へ駐車してください。

2日目の11/4は木次町斐伊川河川敷特設会場が受付となります。河川敷内の駐車場へ駐車してください。





11/4
木次町斐伊川河川敷特設会場

湯村温泉 晴嵐荘
斐伊川の中流に湧いた温泉で、出雲国風土記によれば「川邊（漆仁川）に薬湯あり」と記され、古くから「薬湯」と呼ばれ人々に親しまれ、松江藩主も来遊していた

グリーンシャワーの森(ログハウス)

11/3
吉田総合センター(旧吉田村役場)受付地点

< 輸行方法 >

下図のような輸行袋を使用すれば手荷物として無料で持ち運びすることができます。通常輸行するには自転車の車輪を外してコンパクトにして輸行袋に入れることが条件となっています。最近では工具が一切不要となる、前後輪をはずすだけでワンタッチ収納できる輸行袋も登場！こちらなら初めての方でも簡単に袋に入れて運べます！また、いざという時は大きなゴミ袋に入れて持ち込む方法もあります。



< 雲南ツアー準備品チェックリスト >

サイクリング用品：サイクリングマップ類(当日配布)、ゼッケン(当日配布)、お金、自転車、ライトを装着、ヘルメット、グローブ、バイクシューズ、バイクシャツ、バイクパンツ、サングラス、靴下、携帯カップ、

携帯電話、携帯ポンプ、予備タイヤまたはチューブ、パンク修理キット、ボトル2本、補食。
宿泊用品： お金、着替え一式、シューズ、タオル、ウインドブレーカー、洗面用具、健康保険証。